

山と花のたより 101号

2009年9月25日 松尾忠

メールアドレス tadashi6414@smile.ocn.ne.jp

2009年9月18日(金)

大峰山系大普賢岳登山記録

二上山早朝登山組有志での登山。この記録は参加した吉川さんの作ですが、本人を含む参加者全員の了解を得て、ここに掲載させて頂きました。

参加者 (敬称略)

松尾(リーダー)、河島、小松、松下、道中夫妻、吉川(以上7名)

行程

5:00 車2台で當麻庁舎駐車場を出発

6:30 和佐又ヒュッテ着。ナナカマドの実がもう真っ赤に色づいている。

6:40 登山開始。山の冷気が心地よくて、体内に沁み込んでゆくような気がする。スキが波打ち、足元にはピンクと白のゲンノショウコの花、トチの巨木が少し色づき始めている。

7:00 和佐又山の分岐で休憩。

7:50 修験道の修行場(靡=なびき)のひとつである
笙の窟(しょうのいわや)に到着。

左ゲンノショウコ 8:20 鉄ハシゴを昇り、石の鼻に到着。5、6
人ものぼればいっぱいの狭い岩頭からの眺めはすばらしい。

さらに急坂が続き、歩きやすく整備されたクサリ場やハシゴを伝ってやっと大普賢岳に登り着く。

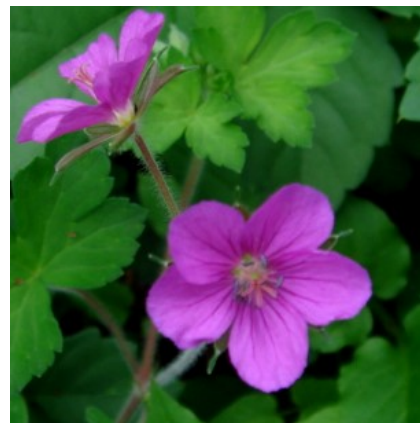
9:15 やったー!頂上だ。眺望が良く、大峰山系の山々が一望できる。少し早いけどお弁当タイム。至福の時だ。山では何でも美味しい。道中さん、デザートの梨ごちそうさまでした。

10:00 下山開始。ササが茂る自然林の中で時折カケスがギャーギャーと鳴く他は誰に出会うこともなく、木の葉散り敷く道を、満ち足りた気分で歩く。途中振り返ると、切り立った大岩壁と深い溪谷の景観、思わず感嘆の声を上げる。

12:50 七曜岳を経て、長い急な下りを慎重に進みながら、疲れもピークに達してきたころ、やっと無双洞に到着。ここでおいしい水をたっぷり補給する。



中央が大普賢岳、大絶壁に囲まれている



9:15 やったー!頂上だ。眺望が良く、大峰山系の山々が一望できる。少し早いけどお弁当タイム。至福の時だ。山では何でも美味しい。道中さん、デザートの梨ごちそうさまでした。

10:00 下山開始。ササが茂る自然林の中で時折カケスがギャーギャーと鳴く他は誰に出会うこともなく、木の葉散り敷く道を、満ち足りた気分で歩く。途中振り返ると、切り立った大岩壁と深い溪谷の景観、思わず感嘆の声を上げる。

12:50 七曜岳を経て、長い急な下りを慎重に進みながら、疲れもピークに達してきたころ、やっと無双洞に到着。ここでおいしい水をたっぷり補給する。



下アキチウジ

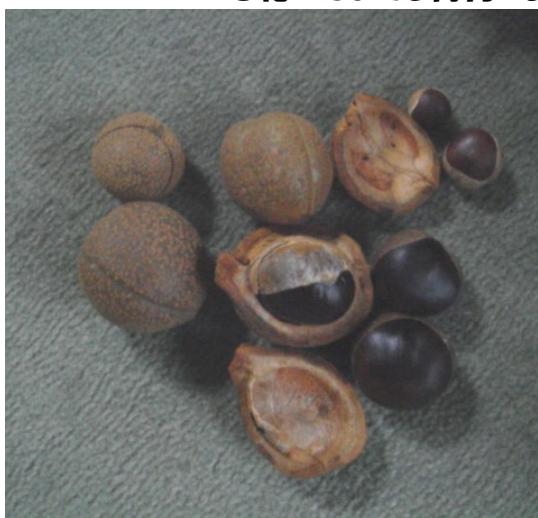
トチの実がいっぱい落ちていた。

- 13:50 底なし井戸で休憩。ここからの登りはかなりきつく、息が上がる。それでもアキチョウジ、ハガクレツリフネ、アケボノソウ、ミカエリソウなど秋の花を教えてもらうたびに立ち止まれるから嬉しい。又、花を見て元気が出てくる。
- 14:40 和佐又山分岐で休憩。
- 15:00 予定より早く和佐又ヒュッテ着。
- 16:10 中荘温泉で汗を流し
- 17:45 當麻庁舎P到着。みなさん有難うございました。(吉川記)

右 アケボノソウ



山と花のたよいを再刊しました



総選挙の間、この「たより」を休刊させていただきました。一旦途切れると再刊への意欲がなかなか湧いて来ず、迷っていましたが、山に登り、花々に逢い、山を愛する多くの方々と語り合う中で、やっと続ける気になってきました。今回文章は吉川さんに頼って101号を発行いたしました。よろしくお願い致します。

さて、真夏の選挙でずいぶん汗をかいた積りでしたが、体重計は冷酷無情に2kg増を示し、味覚の秋にダイエットに励まなければならなくなりました。8月末までズルズルと選挙を引き伸ばして、夏の登山計画をも台無しにした旧自公政権を毒づきながら、美味しそうな梨、ぶどうなどを横目で睨んで、やせ我慢をしています。

上 トチの実

自公大敗北…日本歴史の一大転換点になるか

8月30日投票の衆議院総選挙で自民、公明両党が歴史的惨敗。民主党が圧勝しました。国民が自らの意志で成し遂げた政権交代ですが、国民が否定したのは格差をひろげ、希望の持てない社会にしてしまった新自由主義とその政治路線でした。日本の歴史の大転換点になるかどうかは今後にかかるとは思いますが、国民の声に応じて新政権が打ち出した積極的な政策が実現するよう国民の要求運動の発展が求められています。

私も微力ながら社会進歩の取り組みに参加し続けたいと思っています。今後ともよろしくお付き合いください。

(以上101号)

下 クルマバハグマ

